

## その子の個性に合った脳育てをしよう

### ★ 脳の才能発揮には個性がある

脳のもつ基本的な機能は誰もが一緒です。脳のクセや性格も人によって変わるわけではなく、基本スペックはみんな同じです。けれども不思議なことに、人によって得意なこと・得意ではないことが違いますね。

基本スペックは生まれもつてのものですが、脳がどのような力を発揮していくかは環境によるところが大きく影響します。それが脳の個性をつくり、発揮される才能の違いとなって現れているのです。

脳のもつ才能について、認知教育学の権威である米国ハーバード大学のハワード・ガードナー教授は八種類を挙げています。それをベースとして私は一〇種類に才能を分類しています。一〇種類の才能は大人だけでなく、子どもの中にも眠って

## 10種類の才能

- ◆言葉が好き ↓ 言語の才能
- ◆数字が好き ↓ 数学的な才能
- ◆質問が好き ↓ 論理的な才能
- ◆絵を描くのが好き ↓ 視覚・空間的な才能
- ◆音楽が好き ↓ 音楽的な才能
- ◆身体を動かすのが好き ↓ 身体的な才能
- ◆手先を使うのが好き ↓ 職人気質の才能
- ◆人が好き ↓ 対人的な才能  
(コミュニケーションの才能)
- ◆ひとりであるのが好き ↓ 内面的な才能
- ◆バリエーションが好き ↓ 博物学的な才能

います。それを見つけてあげることこそ子育ての大きな仕事かもしれません。

才能は子どもによってそれぞれです。言葉が得意な子もいれば、身体能力に長けている子もいます。コミュニケーションが得意な子もいれば、コツコツやる職人気質の才能が高い子もいます。

そのほかにも論理的な思考が得意、デザインや配置などの空間認知に才能がある、音楽が得意、手先を使うのが好きなど、何が得意で個性になるかは子どもによって変わります。それを見極めてあげるのも親の大事な役割になります。

「うちは代々医者の家系だから」「うちはみんな東大出だから」などの理由で、子ども